

担保に係る金銭の納付申出書

記載要領

- 1 「担保に係る金銭の納付申出書」は、国税の担保として金銭を提供している場合に、担保提供者（納税者）が国税通則法施行令第18条第1項の規定により、その金銭を国税の納付に充てることを申し出る際に使用してください。
- 2 「申請者（滞納者）」欄は、申請者の住所（又は所在地）及び氏名（又は名称）を記載してください。また、申請者が法人である場合は、代表者の氏名を併せて記載してください。
なお、申請者が法人であり、かつ、納税者である場合は、「法人番号」欄に法人番号を記載してください。
- 3 「〇〇〇の担保として提供した金銭」欄の「〇〇〇」は、担保提供の根拠を、例えば、「保全差押金額」のように記載してください。
- 4 「担保として提供した金銭」欄は、次のとおり記載してください。
 - (1) 国税の担保として金銭を提供した場合
その提供年月日及び担保金額
 - (2) 供託の方法により金銭を提供した場合
その供託年月日、供託番号及び供託金額
- 5 「充当する国税」欄は、担保の目的となった国税のうち、その担保をもって納付しようとする部分の国税について、それぞれ記載してください。